

太子町子ども・子育て会議（第3回） 次第

日時 平成26年6月23日(月)

午後1時30分～

場所 太子町役場 委員会室

1 開会

2 議題

(1) 教育・保育の「量の見込み」について

(2) 地域子ども・子育て支援事業の「量の見込み」について

3 その他

太子町子ども・子育て支援事業計画の構成について（案）

4 閉会

教育・保育の量の見込み

資料 1

子ども・子育て支援法において、市町村は5年を1期とする子ども・子育て支援事業計画を作成することになっており、教育・保育、地域子ども・子育て支援事業の量の見込み、確保方策及び実施時期を定めることになっている。

【国の手引きに基づく教育・保育の量の見込み】

	対象事業	児童の年齢
1号認定	教育標準時間認定 〈専業主婦家庭、就労時間が短い家庭〉	3～5歳
2号認定	保育認定 〈共働きであるが幼稚園を希望家庭〉	3～5歳
	保育認定 〈共働き家庭、就労時間が長い家庭〉	
3号認定	保育認定 〈就労家庭及び就労希望家庭〉	0歳 1・2歳

	就労時間等
タイプA	ひとり親家庭
タイプB	正社員×正社員
タイプC	正社員×パート
タイプC'	正社員×パートだが、保育所の利用を希望しない
タイプD	専業主婦(夫)家庭
タイプE	パート×パート
タイプE'	パート×パートだが、保育所の利用を希望しない
タイプF	無職×無職

◆ 0歳家庭

保育所・認定こども園(3号認定) タイプA+B+C+E

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み(人)	113	109	106	103	101

(ア)

実績値	24年度	25年度
入所数(人)	49	50

◆ 1・2歳家庭

保育所・認定こども園(3号認定) タイプA+B+C+E

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み(人)	302	295	286	277	269

(イ)

実績値	24年度	25年度
入所数(人)	197	178

◆ 3～5歳家庭

保育所・認定こども園(2号認定)

タイプA+B+C+E

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
量の見込み(人)	571	548	522	506	492	(ウ)

実績値	24年度	25年度
入所数(人)	318	320

幼稚園・認定こども園(1号認定)

タイプC'+D+E'+F

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
量の見込み(人)	331	318	302	293	285	(エ)

幼稚園(2号認定)

タイプA+B+C+E

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
量の見込み(人)	29	28	26	25	25	(オ)

【独自の保育所の保育量の見込み】

国の手引きに基づく集計の課題点として、保育や支援事業の必要数が多くでる傾向があると当初より指摘があった。理由として、①「働きたい」と希望しても実際の就労に結びつかないケースがある、②保育料・利用料の記載がない、③類似の機能を有する事業について、事業ごとに利用希望をきいているとの意見が寄せられていました。

アンケート結果の保育量の見込み計

単位:人

ア+イ+ウ	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
0～5歳児	986	952	914	886	862

実績値(入所申込み数)

単位:人

	23年度			24年度			25年度		
	総数	うち内	うち外	総数	うち内	うち外	総数	うち内	うち外
0歳児	63	6	13	35	1	6	45	1	6
1・2歳児	219	17	47	217	9	57	202	5	32
3～5歳児	367	12	88	404	18	91	389	8	89
計	649	35	148	656	28	154	636	14	127

アンケート結果の保育量の見込み数は、保育所の入所申込み実績値と乖離しているため、平成23年度以降の最大値である656人をもとに平成27年度の保育量の見込みとし、これを1として次年度の人口比率を乗じ算定する。

656人のうち分けは、以下のとおりとなる。

定員	380人	管外受託	28人
町外委託	154人	非該当	94人

(※保育要件に欠けるもの)

定員の増、そのほか支援事業の実施により町外委託より町内を希望するものが80人、管外より受託するもの20人、保育希望のもの94人を定員に加えた574人が保育量の見込みとなる。

保育所の保育量の見込み					単位:人
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
0～5歳児	574	554	532	516	502

参考

不足定数	194	174	152	136	122
------	-----	-----	-----	-----	-----

【独自の幼稚園の教育量の見込み】

アンケート結果の保育量の見込み					単位:人
エ+オ	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
3～5歳児	360	346	328	318	310

実績値	24年度	25年度
4・5歳児(人)	429	430

アンケート結果の保育量の見込みは、入園実績値と乖離しているため、各園の入園率を基に算定する。

幼稚園の教育量の見込み			単位:人			
3～5歳児		龍田幼	斑鳩幼	太田幼	石海幼	計
27年度	推計児童数	53	248	505	240	1046
	入園率(%)	72.34	57.05	47.91	48.66	
	量の見込み	38	141	242	117	538
28年度	推計児童数	45	252	475	233	1005
	入園率(%)	72.34	57.05	47.91	48.66	
	量の見込み	33	144	227	113	517
29年度	推計児童数	53	241	467	205	956
	入園率(%)	72.34	57.05	47.91	48.66	
	量の見込み	39	137	224	100	500
30年度	推計児童数	37	231	475	184	927
	入園率(%)	72.34	57.05	47.91	48.66	
	量の見込み	27	132	228	90	477
31年度	推計児童数	36	224	462	179	901
	入園率(%)	72.34	57.05	47.91	48.66	
	量の見込み	26	128	221	87	462

【1 利用者支援事業】（新規）

〈事業の内容〉

子ども又は保護者の方の身近な場所において、子ども・子育て支援に関する相談援助、情報提供、関係機関との連絡調整等を行うことで、子ども子育て支援に関する施設や事業を円滑に利用できるよう実施する。

〈現状〉

行政窓口において、教育・保育施設及び子育て支援事業等の利用に当たって「情報方提供」「相談」などを行っているほか、子育て学習センター（のびすく）や児童館に職員を配置し支援・援助を実施している。

〈量の見込み〉

子育て家庭の「個別ニーズ」を把握し、教育・保育施設の設及び子育て支援事業等の利用に当たっての「情報集約・提供」「相談」「利用支援・援助」が適切に行えるように関係機関との連絡調整、連携・協働の体制づくりを行う。また、地域の子育て資源の育成、地域課題の発見・共有、地域で必要な社会資源開発等を実施するなど事業の実現のための機能を行政機関の窓口を整備する。

量の見込み					
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
実施施設数	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所

【2 延長保育事業(時間外保育事業)】

〈事業の内容〉

保護者の就労形態の多様化、通勤時間の増加等に伴う時間外保育に対する需要に対応する。

〈現状〉

保育所(園)では、7時30分から8時までと16時から18時までの時間外保育を実施している。

〈量の見込み〉

アンケート調査の結果を見込み量とする。

量の見込み					単位:人
0～5歳児	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
推計児童数	1963	1896	1820	1764	1716
見込み量	141	136	131	127	124

参考 保育希望時間 単位:人

始業時間	～7:00	7:01 ～7:30	7:31 ～8:00	8:01 ～8:30	計
平 日	1	87	166	156	410
土曜日	0	44	80	34	158
終業時間	16:01 ～17:00	17:01 ～18:00	18:01 ～19:00	19:00～	計
平 日	112	126	62	6	306
土曜日	40	62	27	1	130

【3 実費徴収に係る補足給付を行う事業】(新規)

国において詳細を検討中

【4 多様な主体が本制度に参入することを促進するための事業】(新規)

国において詳細を検討中

【5 放課後児童健全育成事業】

〈事業内容〉

小学校の児童で、授業終了後保護者の労働等により家庭において保護を受けられない児童を預かる事業として、学童保育園事業を実施している。この事業を小学6年生まで対象を拡大する。

〈現状〉

- ・小学校区ごとに直営にて実施
- ・事業実施時間は、授業終了時から19時まで。ただし、長期休暇中は8時から19時。

1～3年生利用児童数

単位:人

月平均	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
龍田学童	13	11	14	11	13
斑鳩学童	49	50	38	41	49
太田学童	112	111	100	100	113
石海学童	91	93	83	67	72
計	265	265	235	219	247

〈量の見込み〉

アンケートによる希望数

単位:人

月当たり	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
1～3年生	360	356	336	321	308
4～6年生	220	214	224	219	217

1～3年生のアンケートによる値と現在の利用実態と大きく乖離しているため、現在の利用数を1として推定児童数の推移数を乗じて求めるものとする。

4年生の利用者は25年度33名であり、3年生の利用者の約半数であった。また、3年生は2年生の約7割の利用となっていることから、学年が上がるほど利用者が減っている傾向が見られる。よって、5・6年生をそれぞれ10名ずつとし、4～6年生の見込数を算出する。

量の見込み

単位:人

月当たり	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
低学年	253	251	236	226	217
高学年	50	50	50	50	50

【6 子育て短期支援事業】

〈事業内容〉

保護者が疾病等により家庭での養育が困難となった場合や短期に保護を必要とする場合などに、乳児院・児童養護施設・母子生活支援施設において一時的に養育・保護を行う。

〈現状〉

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
委託施設数(か所)	4	4	4	9	9
年間延べ利用数(人)	0	0	0	0	0

〈量の見込み〉

アンケート調査結果に基づいて算出した値を見込み量とする。

量の見込み					単位:人日
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
年間延べ利用数	162	157	151	146	142

【7 乳児家庭全戸訪問事業(こんにちは赤ちゃん事業)】

〈事業内容〉

保健師等がすべての乳児のいる家庭を訪問することにより、子育てに関する情報の提供・乳児や保護者の心身の状況及び養育環境の把握を行うほか、養育についての相談に応じた助言を行う。

〈現状〉

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
出生数	358	364	345	325	327
訪問数	346	338	341	315	317
訪問率	96.6	92.9	98.8	96.9	96.9

〈量の見込み〉

0歳児の推計人口を見込み量とする。

量の見込み					単位:人
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
年間訪問見込み数	294	283	275	267	261

【8 要保護児童等に対する支援に資する事業(養育支援訪問事業等)】

〈事業内容〉

育児ストレス等により虐待につながる恐れのある家庭や未熟児・多胎児等を養育している家庭など養育するうえで支援を要する家庭に対して、ヘルパーや相談員を派遣し、家事・育児援助や養育の指導や助言を行うことで身体的・精神的負担を軽減し、児童虐待を予防する。

〈現状〉

	23年度	24年度	25年度
相談員(人)	1	1	1
対象件数(件)	4	3	5
対象者数(人)	10	10	15
年間訪問回数	7	17	15

〈量の見込み〉

実績値をもとに年間家庭訪問回数を見込み量と設定する。

量の見込み					単位:回
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
年間訪問回数	15	15	15	15	15

【9 地域子育て支援拠点事業】

〈事業内容〉

公共施設や保育所、児童館等の地域の身近場所で、乳幼児のいる子育て中の親子の交流や育児相談、情報提供などを実施する。

〈現状〉

保育所・児童館でも行っているが、拠点としては子育て学習センターで実施している。

のびすく	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
年間延べ利用数	11064	13830	13942	13060	12581
相談件数	17	27	17	23	10

〈量の見込み〉

アンケート調査の集計結果を見込み量とする。

量の見込み					単位:人日
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
月間延べ利用数	3929	3818	3702	3586	3492

【10 一時預かり事業】

〈事業内容〉

保護者の就労・病気・冠婚葬祭などの理由により一時的に保育に欠ける場合、保育所等で一時的に子どもを預かり、保育する。また、幼稚園の通常の保育時間終了後預かりを希望する者を預かる幼稚園が行う活動がある。

〈現状〉

幼稚園における預かり保育は、通常の保育終了後18時まで、長期休業期間中の8時30分から18時まで行っている。

幼稚園における預かり保育					単位:人
	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
年間延べ利用数	1241	1301	1447	1486	1551

保育所における一時保育は、7時30分から18時までの間で行っている。

保育所における一時預かり保育					単位:人日
	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
年間延べ利用数	6000	6986	8881	13957	12040

〈量の見込み〉

アンケート調査結果に基づく利用意向により算出する。

量の見込み					
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
預かり保育利用数(人日)	817	759	746	724	704
一時預かり利用数(人日)	16429	15870	15236	14767	14365
計(人日)	17246	16629	15982	15491	15069

【11 病児病後児保育事業】

〈事業内容〉

保育所に通所中の児童等のうち、病気または病気の回復期にあり、集団保育が困難な期間、一時的に保育所、認定こども園、病院等で保育を行う。

〈量の見込み〉

アンケート調査結果に基づく利用意向に近隣市町実績利用日数1.75日を乗じて算出する。

量の見込み					単位:人日
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
年間延べ利用数	440	440	440	440	440

【12 子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター事業)】

〈事業内容〉

子育ての援助を受けたい人(依頼会員)と子育ての援助をしたい人(提供会員)を登録し、会員相互間で育児等の援助を行う。

事例 ・保育施設への送迎 ・放課後の預かり ・買い物等外出時の預かり
・保護者の病気や冠婚葬祭等の休養時の預かり

〈量の見込み〉

アンケート調査結果

0～5歳児	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
推計児童数(人)	1963	1896	1820	1764	1716
年間延べ見込量(人日)	3360	3243	3114	3016	2936

複数回答が可能なため、1回の利用日数が把握できない質問設定となっているので、近隣市町の実績を参考に月10件の利用で平均利用日数を3日として算出する。

量の見込み					単位:人日
0～5歳児	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
年間延べ利用数	360	360	360	360	360

【13 妊婦に対して健康診査を実施する事業(妊婦健診)】

〈事業内容〉

妊婦を対象に、安心して妊婦・出産を迎えるため、健康診査に係る費用の一部を助成する。

〈現状〉

23年度より、1回の妊娠期間につき14回を限度として助成している。

	23年度	24年度	25年度
交付数(人)	379	354	361
平均使用枚数(枚)	11.4	12.0	10.1

〈量の見込み〉

妊娠期間中の転出入、里帰り出産等により、妊婦の所在が流動的であるが、実績値をもとに、量の見込みは、妊婦健康診査助成券の交付数及び年間健診回数(使用枚数)とする。

量の見込み					
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
交付数(人)	350	350	350	350	350
年間健診回数(回)	4025	4025	4025	4025	4025

太子町子ども・子育て支援事業計画の構成（案）

第1 計画策定にあたって

趣旨、計画の性格、期間等

第2 太子町の子ども・子育てに関する現状

- ・子どもと家庭に関連する基礎的な統計情報
人口、世帯、家族構成、結婚、離婚、就労状況等
- ・太子町の行政サービスの状況
保育所、幼稚園、小学校、その他の支援サービス等
- ・子育て家庭のニーズ動向
アンケート調査の結果等

現状分析

第3 計画の基本的な考え方

- ・太子町の問題と課題
現状からの課題整理
- ・基本理念と基本目標
課題整理からの目標設定
- ・施策の体系

政策決定

第4 分野別実施計画

- ・体系に基づいた具体的な取り組み

第5 目標事業量

実施計画

第6 計画の推進体制